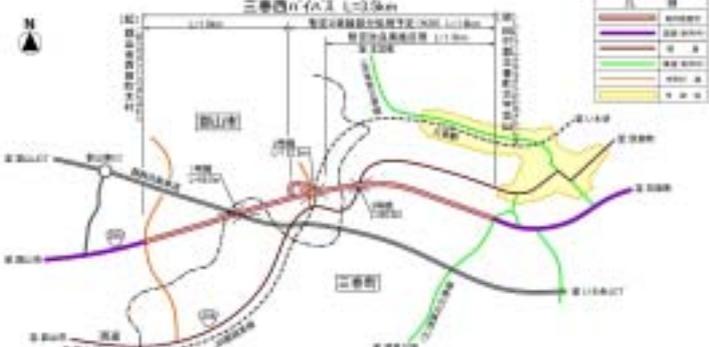


## 再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課  
担当課長名：木村 昌司

事業名：一般国道288号 三春西バイパス	事業区分：一般国道	事業主体：福島県			
起終点：自：福島県郡山市西田町木村 至：福島県田村郡三春町大字貝山		延長：3.5 km			
<b>事業概要</b> 一般国道288号は、福島県郡山市を起点とし、同県双葉郡双葉町に至る延長約7.5 kmの幹線道路である。三春西バイパスは、三春町中心市街地の交通混雑の緩和を目的とした延長3.5 kmのバイパス整備事業である。					
H9年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	H12年度用地着手	H13年度工事着手		
全体事業費	約7.1億円	事業進捗率	3.7%	供用済延長	0 km
計画交通量	30,220台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 3.1 (残事業)	総費用：(残事業)/(事業全体) / 7.2億円 (事業費： /6.8億円 維持管理費： / 4億円)	総便益：(残事業)/(事業全体) / 22.2億円 (走行時間短縮便益： /17.4億円 走行費用減少便益： / 4.1億円 交通事故減少便益： / 7億円)	基準年：平成18年	
<b>事業の効果等</b> ・国土・地域ネットワークの構築（日常活動圏の中心都市へのアクセス向上） ・災害への備え（緊急輸送道路第二次確保路線の確保） <span style="float: right;">他7項目に該当</span>					
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> ・郡山地方広域市町村圏組合、三春町長、三春町議会及び田村地方市町議会議長会等より早期整備の要望を受けている。					
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> ・事業を取り巻く環境は特に変化しておらず、事業採択時と同様の効果発現が見込まれる。					
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> ・平成17年度までに終点側約1.3 kmの暫定改良工事を実施した。現在は、JR磐越東線を跨ぐ三春西2号橋の工事を進めている。					
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> ・今後は、終点側1.6 km区間について、平成20年度までに暫定2車線の部分供用を図る予定である。					
<b>施設の構造や工法の変更等</b> ・再生路盤材の活用、建設発生土の有効活用を積極的に進め、コスト縮減を図っている。 ・耐候性鋼材を鋼製橋梁に採用し、ライフサイクルコストの軽減を図っている。					
対応方針		事業継続			
対応方針決定の理由		・以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。			
<b>事業概要図</b> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>					

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。